

プレスリリース

オンセミ、2026 年度第 2 四半期決算を発表

前年同期比で 1 株当たり利益が売上高成長率の 4 倍のペースで増加

オンセミ(本社: 米国アリゾナ州スコッツデール、Nasdaq: [ON](#))は、2026 年度第 2 四半期の決算を発表しました。

主なハイライト:

- 売上高は前年同期比 9%増の 16 億 400 万ドル
- GAAP ベースの売上総利益率は 38.4%、非 GAAP ベースは 39.3%
- GAAP ベースの営業利益率は 16.1%、非 GAAP ベースは 20.8%
- GAAP ベースの希薄化後 1 株当たり利益は 0.56ドル、非 GAAP ベースは 0.74ドル
- 営業活動によるキャッシュ・フローは前年同期比 150%増加し、フリー・キャッシュ・フローは前年同期比 4 倍の 4 億 2,540 万ドル
- 3 億 3,200 万ドルの自社株買いを実施し、年初来の株主還元はフリー・キャッシュ・フローの約 105%に達した

オンセミの社長兼 CEO であるハッサーン・エルコーリー(Hassane El-Khoury)は、次のように述べています。「特に AI 関連アプリケーションの需要増と、Treo や高電圧パワーソリューションなどの差別化されたソリューションの採用拡大を背景に、売上高、売上総利益率、1 株当たり利益はいずれもガイダンスレンジの中央値を上回る結果となりました。AI データセンターは引き続き当社の最速成長事業であり、2026 年の売上高は 2 倍を超えると予想しています。これは、当社のインテリジェントなパワーポートフォリオの優位性と、パワーツリー全体で顧客による採用が拡大していることを示すものです」

オンセミで EVP 兼 CFO を務めるタッド・トレント(Thad Trent)は、次のように述べています。「今回の結果は、当社のビジネスモデルにおける営業レバレッジを実証しています。売上総利益率の拡大と規律あるコスト管理により、1 株当たり利益は前年同期比で売上高成長率の 4 倍のペースで増加しました。フリー・キャッシュフロー・マージンは前年同期比の約 7%から 27%へと大きく拡大しており、当社のオペレーティングモデルの力強さを示しています。当社は需要が回復基調にある中、収益を伴う成長と長期的な株主価値の向上を牽引できるという点において、ますます自信を深めています」

ビジネスハイライト:

- [シナプティクス\(Synaptics\)の買収計画](#)を発表。これにより、パワーおよびセンシング分野でのリーダーシップを補完しつつ、利益率を押し上げる形でコネクテッドコンピューティング機能を強化し、市場拡大を推進
- AI インフラストラクチャの電力需要の増加に伴い、[NVIDIA MGX](#) エコシステムにおける役割を拡大
- 中国の大手クラウドインフラ電力サプライヤーである Great Wall から、AI データセンター向けプラットフォームの採用を獲得し、EliteSiC、シリコン MOSFET、コントローラの搭載製品を拡充
- 40V から 650V の広範囲をカバーするオンセミの窒化ガリウムパワーポートフォリオ [GaNEXUS](#) を市場に投入し、AI データセンターやロボティクス、産業インフラの各用途に対応
- Rivian の R2 プラットフォームにおいて、効率的な電力配分と変換を可能にするパワーソリューションを提供し、車載ゾーンアーキテクチャおよびオンボード充電分野でのリーダーシップを強化

Selected financial results for the quarter are shown below with comparable periods (unaudited):

(Revenue and Net Income in millions)	GAAP			Non-GAAP		
	Q2 2026	Q1 2026	Q2 2025	Q2 2026	Q1 2026	Q2 2025
Revenue	\$1,603.5	\$1,513.3	\$1,468.7	\$1,603.5	\$1,513.3	\$1,468.7
Gross Margin	38.4 %	38.5 %	37.6 %	39.3 %	38.5 %	37.6 %
Operating Margin	16.1 %	(3.5)%	13.2 %	20.8 %	19.1 %	17.3 %
Net Income (loss) attributable to ON Semiconductor Corporation	\$226.8	(\$33.4)	\$170.3	\$293.8	\$253.1	\$221.3
Diluted Earnings (loss) Per Share	\$0.56	(\$0.08)	\$0.41	\$0.74	\$0.64	\$0.53

Second Quarter Results

Revenue Summary

(in millions)

(Unaudited)

Business Segment	Quarters Ended			Sequential Change	Year-over-Year Change
	Q2 2026	Q1 2026	Q2 2025		
PSG	\$ 829.0	\$ 736.6	\$ 698.2	13 %	19 %
AMG	545.7	540.4	555.9	1 %	(2)%
ISG	228.8	236.3	214.6	(3)%	7 %
Total	\$ 1,603.5	\$ 1,513.3	\$ 1,468.7	6 %	9 %

Revenue Summary

THIRD QUARTER 2026 OUTLOOK

The following table outlines onsemi's projected third quarter of 2026 GAAP and non-GAAP outlook.

	Total onsemi GAAP	Special Items **	Total onsemi Non-GAAP***
Revenue	\$1.650 to \$1.750 million	-	\$1.650 to \$1.750 million
Gross Margin	39.9% to 41.9%	0.1%	40.0% to 42.0%
Operating Expenses	\$318 to \$333 million	\$15 million	\$303 to \$318 million
Other Income and Expense (including interest), net	(\$18 million)	-	(\$18 million)
Diluted Earnings Per Share	\$0.79 to \$0.91	\$0.02	\$0.81 to \$0.93
Diluted Shares Outstanding *	402 million	7 million	395 million

Third Quarter 2026 Outlook

* 希薄化後発行済株式数は、譲渡制限付株式ユニット(RSU)の権利確定、転換社債による追加的な希薄化株式数、自社株式または転換社債の買戻しもしくは発行、あるいは自己株式の売却などの要因により変動する場合があります。四半期平均株価が、0%転換社債については 52.97 米ドル、0.50%転換社債については 103.87 米ドル、2031 年満期 0%転換社債については 161.30 米ドルを上回る期間においては、Non-GAAP ベースの希薄化後株式数および Non-GAAP ベースの 1 株当たり純利益に、それぞれ当該 0%転換社債、0.50%転換社債および 2031 年満期 0%転換社債の発行と同時に締結されたヘッジ取引による希薄化抑制効果が反映されます。平均株価が、0%転換社債では 52.97 米ドル以上 74.34 米ドル以下、0.50%転換社債では 103.87 米ドル以上 156.78 米ドル以下、2031 年満期 0%転換社債では 161.30 米ドル以上 211.54 米ドル以下の場合、当該ヘッジ取引はそれぞれ 0%転換社債、0.50%転換社債および 2031 年満期 0%転換社債による潜在的な希薄化影響を相殺します。四半期平均株価が、0%転換社債では 74.34 米ドル、0.50%転換社債では 156.78 米ドル、2031 年満期 0%転換社債では 211.54 米ドルを超える場合には、これらの転換社債の発行と同時に発行されたワラントによる希薄化影響が希薄化後発行済株式数に含まれます。GAAP および Non-GAAP ベースの希薄化後株式数は、前四半期の平均株価または前四半期最終日時点の株価のいずれか高い方を基準として算出されています。

** 特別項目には、買収関連無形資産償却費、取得棚卸資産の公正価値評価に伴う費用、事業再編関連の売上原価費用、一時的な施設関連費用、仕掛研究開発費(IPR&D)、事業再編費用、資産減損およびその他費用(純額)、のれんの減損損失、負債の期限前返済に伴う損益、年金制度およびその他退職給

付制度に関する数理計算上の損益、ならびに必要な応じたその他の特別項目が含まれる場合があります。これらの特別項目は当社の管理可能な範囲を超える要因によるものであり、期間ごとに大きく変動する可能性があります。そのため、当社はこれら特別項目の個別影響額または重要性を合理的に見積もって個別に開示することができず、同様に Non-GAAP 指標との調整表(リコンシリエーション)を提供することもできません。提供できない調整表には、GAAP に基づく将来予想損益計算書、貸借対照表およびキャッシュ・フロー計算書が含まれます。このため、当社は予想される Non-GAAP 営業費用見通しの算出にあたり、特別項目の総額について予測レンジを使用しています。

*** 当社は、これらの Non-GAAP 財務指標が投資家に対して重要な補足情報を提供すると考えています。当社は GAAP 指標と併せてこれらの指標を社内管理目的および期間比較評価のために使用しています。ただし、当社の業績評価にあたっては、Non-GAAP 財務指標のみに依拠すべきではありません。当社は、Non-GAAP 財務指標が当事業の一側面を補足的に示すものであり、GAAP ベースの業績および当社が公表する GAAP 財務指標との調整表と併せて参照することで、当事業に影響を与える要因やトレンドについて、より包括的な理解が得られると考えています。なお、Non-GAAP 財務指標には統一された算定基準が存在しないため、同様の名称が使用されている場合であっても、他社の Non-GAAP 財務指標と直接比較できない可能性があります。

テレカンファレンス

onsemi は、本発表の内容ならびに 2026 年度第 2 四半期業績について説明するため、2026 年 8 月 3 日午後 5 時(米国東部時間)より投資家および金融関係者向け電話会議を開催します。また、同社ウェブサイトの投資家向け情報(Investor Relations)ページ(<http://www.onsemi.com>)にて、電話会議の音声ライブ配信を実施します。ライブ配信終了後、約 1 時間以内にアーカイブ配信を公開し、その後約 30 日間視聴可能となります。投資家および関係者は、[事前登録サイト](#)から電話会議に参加いただけます。

###

オンセミ(onsemi) について

オンセミ (Nasdaq: [ON](#)) は、自動車、産業機器、AI データセンターといったエンドマーケットにおいて、電動化、エネルギー効率、安全性、オートメーションを実現するインテリジェントなパワーおよびセンシング技術を提供しています。オンセミは、競争力のある革新的な製品ポートフォリオを通じて、お客様が直面する複雑な課題の解決を支援し、より高い効率性と性能の向上、さらにシステムコストの低減を実現します。これにより、より安全でクリーン、そしてエネルギー効率の高い社会の実現に貢献しています。当社は S&P 500®インデックスに含まれています。オンセミの詳細については、www.onsemi.jp をご覧ください。

オンセミおよびオンセミのロゴは、Semiconductor Components Industries, LLC.の登録商標です。本ドキュメントに掲載されているその他のブランド名および製品名は、それぞれの所有者の登録商標または商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

アリソン・アンド・パートナーズ株式会社 大塚

Email: onsemi_Japan_pr@allisonworldwide.com